

目次	第38回青空地衣教室（神奈川県伊勢原市）の報告 / 木下 靖浩・安斉 唯夫	445
	第38回青空地衣教室に参加して / 吉川 裕子	446
	第38回青空地衣教室（神奈川県伊勢原市阿夫利神社下社）で観察された 地衣類 / 原田 浩・木下 靖浩・安斉 唯夫・坂田 歩美	448

第38回青空地衣教室（神奈川県伊勢原市）の報告

Report of the 38th Outdoor School on Lichens at Afuri-Jinja Shrine, Isehara, Kanagawa-ken, central Japan (19 May 2013) / by KINOSHITA Yasuhiro & ANZAI Tadao

>>> 木下 靖浩・安斉 唯夫：地域活性化委員会関東

神奈川県伊勢原市において第 38 回青空地衣教室が
開催されましたので、報告いたします。

開催日：2013年5月19日（日）

開催場所：神奈川県伊勢原市阿夫利神社下社

講師：原田浩（千葉県立中央博物館）

参加者：13名（講師を含む）

* * *

丹沢山系の東の端に位置する大山（伊勢原市）での
青空地衣教室は2004年、2005年にも開催しており、
今回は8年ぶり3回目の開催です。

第1回は大山ケーブル駅（山麓駅）から参道（女坂）
を経て大山寺で、第2回は阿夫利神社下社境内で、そ
れぞれ観察を行いました。今回は第2回と同じ観察
場所に設定しました。第2回で見つかった境内のスギ
の木のサルオガセ属地衣や境内下の石垣に着生してい
た多種の藍藻共生地衣との再会を果たすためです。

気候の良い季節のため、大山はたくさんの人出で、
大山登山や阿夫利神社参拝の人達で満員のケーブルに

乗って阿夫利神社駅（山頂駅）に着き、茶店前の広場
の木々の幹に着生した地衣を観察しました。行き合わ
せた観光客とのいつもの、「何をしていますか？」、「
地衣類というコケの仲間を観察しています」、「ハ
ーえ」という会話をはさみながら、ウメノキゴケ、マ
ツゲゴケなどの葉状地衣の観察から始まりました。前
回には見つからなかったニセカシゴケなども見つかり、
相変わらず地衣種の豊かな場所です。境内まで登って
すぐのスギの木には、今回もサルオガセ属地衣が変わ
らず着生していました。しかしながら、成長が遅いせ
いなのか、はたまたかろうじて生き残ることのできる
環境であるためか、8年前から大きくなったように思
えませんでした。石垣には多数の地衣種が認められま
したが、ウラムゴケ属地衣が見られないなど、残念な
がらこちらは種数が減ったように思われました。関東
ふれあいの道まで足を延ばしてツメゴケ属地衣を観察
したのち、最初の広場に戻って復習をして、一日の観
察を終えました。



図1. 阿夫利神社駅からすぐの茶店前の広場で樹幹に着生する地衣を観察。

第38回青空地衣教室に参加して

My experiences at the 38th Outdoor School on Lichens at Afuri-Jinja Shrine, Isehara, Kanagawa-ken, central Japan (19 May 2013)/ by YOSHIKAWA Hiroko.

>>> 吉川 裕子；千葉県立中央博物館共同研究員

新緑もまぶしい五月，神奈川県伊勢原市大山阿夫利神社下社での青空地衣教室が開催されました。

大山は別名あふり山（雨を降らすの意）といい，雨が多いそうですが，週間天気予報での雨予報が覆り，天気は上々でした。バスを降りて徒歩20分，階段を延々と上り，ケーブルカーのりばに到着したときには息が上がっていました。ケーブルカーが木々の間を登るに従って涼しくなり，阿夫利神社下社駅に降りると標高が700m近くあるのと風があるためか，肌寒いほどでした。

はじめに，茶店前の楓の木についている葉状地衣で，原田先生から種を同定するポイントとなる特徴の説明がありました。地衣体の色，裂片の形や大きさ，分枝

の特徴，シリア，裂芽，粉芽，バスチュールの有無などから，キウメノキゴケ，マツゲゴケ，ウチキウメノキゴケ，ハクテングケなどを観察しました。裂片の先端が膨らみ粉芽塊となっている葉状地衣は，タカハシウメノキゴケに似ているけれど地衣体の色がくすんでいるので，コフキチョロギウメノキゴケと同定されました。顕微鏡で内部形態を観察すると，髓層にチョロギ細胞が見られるそうです。

しばらく葉状地衣の観察を行った後，オオカノコゴケ，クサヒラゴケなどの痾状地衣も教えていただきました。移動しながらクズレマツゲゴケ，トゲハクテングケなどの葉状地衣も見られました。

午後の最初は、社殿前の杉の木に着生している、8年前に観察されたというサルオガセです。想像していたよりも小さく、大きいものでも3cm程度で、地衣類の成長の遅さを改めて感じました。ただ、サルオガセは環境の影響を受けやすいということから考えると、なくならずに残っていたということは、大山は比較的良好な環境が保たれていると思われます。また何年か後にもう少し大きくなった姿が見たいものです。その他ゴンゲンゴケ、トゲウメノキゴケ、ヤリノホゴケ、コアカミゴケ（赤い子器が1つありました）、アナゴケを観察しました。「地衣類では着生している基物の種類や環境で形が違ってくることがあるので、下で見たトゲウメノキゴケと裂片の印象が違います。」との原田先生のお話でした。

再び昼食場所に戻って、岩上のクボミゴケとジョウゴゴケの仲間、センシゴケなどを見てから、少し下りたところの石垣に生える地衣類を観察しました。ここではコナカワラゴケ、ヘラガタカブトゴケ、ウラミゴケ、アオキノリ、アカハラムカデゴケ、赤い子器盤と白いデコボコした果托が印象的なバラゴケの仲間など興味深い地衣類が見られました。

登山道を少し進み、少し明るい斜面で、ヤリノホゴ

ケ、裂片の端が爪のようなその名もツメゴケ、岩についでいるヤマトキゴケを観察した後、最初の茶店前に戻りました。

終了までの約一時間は、午前中の復習と、各自気になる木などをじっくり観察し、新たにオリーブトリハダゴケ、コナイボゴケ、ヒゲゴケなどを見ることができました。普段、家の近くではあまり見られないような種々の地衣類もたくさん観察して、青空地衣教室は、15時に予定通り無事終了しました。

今回は季節も天気もよく、多くの登山者や観光客が訪れていましたが、木や岩に張り付くようにして観察をしていた私たちは、奇妙な一団に見えたようで、何人の方から「何をしているんですか？」と聞かれる機会が多かったようです。茶店の店員さんも、朝から辺りをうろろろしている、買い物もしない妙な集団だと思われていたのではないのでしょうか。

最後に、今回の地衣教室の開催にあたって、準備をされてきた安齊さん、木下さん、わかりやすい解説と丁寧に質問に答えてくださった原田先生、ありがとうございました。とても有意義な一日を過ごすことができました。



図2. 髓層が赤く、粉芽を付けているコナアカハラムカデゴケ。周囲の黄色い地衣はロウソクゴケ。

第38回青空地衣教室（神奈川県伊勢原市阿夫利神社）で観察された地衣類

Lichens observed during the 38th Outdoor School on Lichens at Afuri-Jinja shrine, Isehara, Kanagawa-ken, central Japan (19 May 2013)/ by HARADA Hiroshi, KINOSHITA Yasuhiro, ANZAI Tadao & SAKATA Ayumi

>>> 原田 浩¹⁾・木下 靖浩²⁾・安斉 唯夫²⁾・坂田 歩美³⁾ : 1) 千葉県立中央博物館, 2) 地域活性化委員会関東, 3) 千葉県立中央博物館共同研究員

観察リスト

場所： 神奈川県伊勢原市阿夫利神社

観察日： 2013年5月19日

<i>Aspicillia</i> sp.	クボミゴケ属	<i>Nephroma</i> sp.	ウラムゴケ属
<i>Buellia</i> sp.	スミイボゴケ属	<i>Ochrolechia parellula</i>	イワニクイボゴケ
<i>Candelaria concolor</i>	ロウソクゴケ	<i>Ochrolechia trochophora</i>	クサビラゴケ
<i>Cladonia coniocraea</i>	ヤリノホゴケ	<i>Parmelinopsis minarum</i>	トゲウメノキゴケ
<i>Cladonia humilis</i>	ヒメジョウゴゴケ	<i>Parmelinopsis spumosa</i>	コナヒメウメノキゴケ
<i>Cladonia macilentia</i>	コアカミゴケ	<i>Parmotrema tinctorum</i>	ウメノキゴケ
<i>Cladonia ochrochlora</i>	キツネゴケ	<i>Peltigera degenii</i>	ウスツメゴケ
<i>Coccocarpia palmicola</i>	コナカワラゴケ	<i>Pertusaria corallina</i> var. <i>corallina</i>	
<i>Cresponea macrocarpoides</i>	ニセカシゴケ		サンゴトリハダゴケ
<i>Dibaesis soreliata</i>	コナセンニンゴケ	<i>Pertusaria multipuncta</i> ?	オオカノコゴケ?
<i>Enterographa divergens</i>	マルミクチナワゴケ	<i>Pertusaria pustulata</i>	オリーブトリハダゴケ
<i>Flavoparmelia caperata</i>	キウメノキゴケ	<i>Pertusaria subobductans</i>	ヒメコブトリハダゴケ?
<i>Graphis scripta</i> ?	モジゴケ?	<i>Phaeographis asteriformis</i>	ボンジゴケ
<i>Heterodermia obscurata</i>	キウラゲジゲジゴケ	<i>Phaeophyscia endococcinodes</i>	アカハラムカデゴケ
<i>Heterodermia pseudospeciosa</i>	ヤマゲジゲジゴケ	<i>Phaeophyscia rubropulchra</i>	コナアカハラムカデゴケ
<i>Hypotrachyna koyaensis</i>	コウヤウメノキゴケ	<i>Physciella melanchra</i>	ムカデコゴケ
<i>Hypotrachyna osseoalba</i>	ゴンゲンゴケ	<i>Physcia orientalis</i>	
<i>Hypotrachyna revoluta</i>	ハコネゴンゲンゴケ	<i>Porpidia albocaerulescens</i>	ヘリトリゴケ
<i>Lecanora mikuraensis</i>		<i>Punctelia borreii</i>	ハクテンゴケ
<i>Lecanora pulverulenta</i>	コナイボゴケ	<i>Punctelia rudecta</i>	トゲハクテンゴケ
<i>Lecanora subimmarginata</i>		<i>Rimelia clavulifera</i>	マツゲゴケ
<i>Lecidella sendaiensis</i>		<i>Rimelia hawaiiensis</i>	クズレマツゲゴケ
<i>Leiorreuma exaltatum</i>	ヘリトリモジゴケ	<i>Rimelia reticulata</i>	オオマツゲゴケ
<i>Lepraria cupressicola</i>	レブラゴケ	<i>Rinodina</i> sp.	ビスケットゴケ属
<i>Leptogium azureum</i>	アオキノリ	<i>Stereocaulon japonicum</i>	ヤマトキゴケ
<i>Lobaria spathulata</i>	ヘラガタカブトゴケ	<i>Thelotrema inallescens</i>	アナゴケ
<i>Menegazzia terebrata</i>	センシゴケ	<i>Trapelia coarctata</i>	バラゴケ
<i>Myelochroa entotheiochroa</i>	クズレウチキウメノキゴケ	<i>Usnea</i> sp.	サルオガセ属
<i>Myelochroa irrugans</i>	ウチキウメノキゴケ	<i>Verrucaria praetermissa</i>	アオジロアナイボゴケ
<i>Myelochroa leucotyliza</i>	ヒカゲウチキウメノキゴケ		
<i>Myelochroa metarevoluta</i>	コフキチヨロギウメノキゴケ		

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 120, pp. 445-448: eds. Harada H. & Kinoshita K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 7 Sept. 2013.

日本地衣学会ニュースレター 120号

発行日：2013年 9月 7日

編集： 原田 浩・木下 薫

発行者・発行所：日本地衣学会

〒203-0021 東京都清瀬市野塩 2-522-1

明治薬科大学 生薬学教室内

©2013 日本地衣学会 (© 2013 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複製等は固くお断りいたします。